



よしだつうしん

吉田通信

第104号
【2023年5月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆社歴が浅い人が担当します◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第104号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、1年前に新入社員として入社した子が1名、先月から採用及び新入社員研修の担当になりました。新入社員の教育をベテランではなく、入社間もない若手が担当します。実は、吉運堂では以前から、教育は社歴が浅い人が担当するという考え方を持っています。理由は2つです。

1つ目は、社歴が浅い人であれば、その教育を受ける側、教えてもらう側の人にも近く、何がわからなかったのかということはまだ覚えているからです。これは新入社員研修に限ったことではありません。当時の自分が、何がわからなかったのか、どんなことで困ったのか、そういう気持ちがまだあるうちに教える側になることで、より上手に教えられると思うのです。

これがもし、その分野で社歴が長いベテランが教育担当になってしまうと、かつて自分がわからなかったときのことを忘れてしまい、つい「なんでわからないの？」となってしまうかねません。

また、下手をすると今の時代には合っていない、昔ながらのやり方が伝えられてしまう可能性もあり、今、時代がどんどん変化し新しく活用できるツールもどんどん出てきている中、何かを教えるのは、やはり社歴が浅い人間の方がいいのかなと思っています。

2つ目は、教える立場になることで、実は教える本人が一番成長するということです。教える立場になった人は、まず、わからないことがなくなるまで自分が勉強しなければなりません。かつて自分が教わったことも思い出し、また、現場で自分がやっていることも振り返り、そして、わからない人にどう教えれば伝わるのか、教わる人より何倍も考え、勉強することになるので、結果的にその人が一番成長するということです。あえて社歴が浅い若手に担当してもらっています。



実際にその効果は見えてきています。これからも吉運堂としては、教育は社歴が浅い人が担当する形でやっていこうと思っています。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、毎年5月5日の端午の節句に、長岡で御釈迦様の誕生日をお祝いする「花まつり」が執り行われます。そこでは、子どもたちが着飾って歩く稚児行列があるのですが、吉運堂では毎年、新人さんが子どもたちの着付けのお手伝いをさせていただいております。今年も入社したばかりの2人を連れて行ってきました。たくさんの人で賑わい、コロナが明けてきたことを実感いたしました。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史